

平成 28 年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成 29 年 3 月 23 日

研究・研修課題名	肺がんCT検診認定技師資格更新のための研修
研究・研修組織名（所属）	診療放射線技師のスキルアップ（肺がん CT 検診認定技師資格更新） （所属：放射線部）
研究・研修責任者名（所属）	山本 泰司（放射線部）
共同研究・研修者名（所属）	梶谷 尊郁（放射線部）

目的及び方法、成果の内容

①目 的（800字程度）

肺がん CT 検診認定技師の資格更新に、日本 CT 検診学会主催の夏期セミナー2016（第 10 回技術セミナー・第 20 回読影セミナー・第 15 回肺気腫セミナー）の受講が推奨されている。島根大学医学部附属病院では肺がん CT 検診を行っていることから有資格者が必要である。

②方 法（800字程度）

2016 年 7 月 23 日（土）に浜離宮朝日ホール（東京都中央区築地 5-3-2 朝日新聞東京本社・新館 2 階）で開催される日本 CT 検診学会夏期セミナー（第 10 回技術セミナー・第 20 回読影セミナー・第 15 回肺気腫セミナー）を受講し、認定資格を維持する。

③成 果（データ等の図表を入れて2000字程度）

肺気腫セミナーでは、CT 肺気腫は COPD のみならずさまざまな疾患のリスク因子である可能性があり、データの蓄積が必要であると指摘された。また、COPD では気腫性病変だけでなく、気道病変も存在し、気道病変を定量化して解析すると、気腫性病変と気道病変は独立して相補的に呼吸機能に影響を与えることが判明したこと、さらに、このことを発展させ、COPD を気腫病変優位群、気道病変優位群に弁別し、COPD 患者のフェノタイプ分類を行うことが可能であり、病理と機能と画像を融合させることが可能であるという講演であった。

技術セミナーでは、「Point Spread Function (PSF) に基づく 3 次元 CT 画像シミュレーションの応用」の講演があり、肺がん CT 検診における CAD の Quality Assurance (QA) の応用研究に 3D-PSF を用いており、CAD の QA の重要性とそのための研究が重要であるといった内容であった。また、CT 検診ということで、大腸 CT 検診における 3D ワークステーションの画像処理方法・実機を用いた実演があった。

読影セミナーでは、3 施設からの CT 検診をどのように円滑に運営・読影しているかについて説明があった。

日本 CT 検診学会夏期セミナー（第 10 回技術セミナー・第 20 回読影セミナー・第 15 回肺気腫セミナー）を受講することで、CT 検診についての知識を習得することができた。また、肺がん CT 認定技師の資格更新のためのポイント取得ができ、当院におけるドッグ検診（肺がん CT 検診コース）が低線量で高い撮影レベルで行うことができ正診率の向上、延いては地域の医療貢献に繋がる。